＜先週の説教から＞

『ルカ88 ― 収穫は多いが働き手が少ない』

武田 真治　牧 師

詩編　90：9～17　　ルカ福音書　10：1～5

毎月末には「詩編」を一つずつ読み進めています。本日は64篇になります。この詩編は一人の信仰者の神様への切なる祈りがその内容ですが、「詩」として読んでも豊かな内容を持っていると言われています。最初の2～3節が神様への“願い・訴え”です。即ち「神よ、悩み訴えるわたしの声をお聞きください。敵の脅威からわたしの命をお守りください。わたしを隠してください、さいなむ者の集いから、悪を行う者の騒ぎから。」です。ここにはこの祈り人の生命を狙っているような「敵」がいることが分かります。その敵の様子が４節から具体的に記されています。「彼らは舌を鋭い剣とし、毒を含む言葉を矢としてつがえ」です。ここで「舌を剣」や「言葉を矢」と喩えている言葉等が詩的とされているのですが、この人は決して詩としての技巧を尽くしているのではなく、その敵の言葉が自分の心身を刺してくると感じるほどに厳しく、辛い状態にあると“告白”している言葉なのです。

人の言葉が刃物のように感じることは私たちでもあるのではないでしょうか？　まさに多くの人の共感を呼ぶ言葉、詩編と見做されて来たのでしょう。しかもこの敵は「隠れた所から無垢な人を射ようと構え、突然射かけて、恐れもしません。悪事にたけ、共謀して罠を仕掛け『見抜かれることはない』と言います。」と、自分の存在を悟られないように影から狙って来る“卑怯者たち”であり、祈り人を「わな」に嵌めて抹殺しようと仕掛けてくると。それ故「（彼らの陰謀から）隠してください」と１節で嘆願しているのです。

ところが、神様はなんと、その敵に対してちゃんと裁きを与えてくださるというのが次の８節からの内容なのです。「神は彼らに矢を射かけ」と。先ず、神様は彼らをまさに矢で射かけられると、その次には剣で切られると（＝「討つ」の原語はマッカーで“剣で傷を負わせる”という意味です）。更には「突然、彼らは討たれるでしょう。自分の舌がつまずきのもとになり」と。この「突然」の原語はピトオームで“予知できない”時と方向からという意味です。まさに隠れて、見られるはずはないとタカをくくっている彼らを、完全に見抜かれて、かつ彼らに察知できない形で打たれると。

この神様のなさり様は、まさに敵が使う攻撃方法を、すべて逆手に取って、完膚なきまでに打ち破られることを表しています。まさにそれこそが、悪しき者（＝神様を恐れない者）に対する“神様の裁き方”なのだと。そのような神様のなさり様を周りにいる人々が目の当たりにする時に、10 節「人は皆、恐れて神の働きを認め、御業に目覚める」ことになると！人々が“主を恐れる者”に変えられるのだと。

そして最後の 11 節で「主に従う人は主を避けどころとし、喜び祝い、心のまっすぐな人は皆、主によって誇ります。」と締められています。この言葉こそ、この詩編の結論であり、信仰者として《生き方》を示してくれています。即ち、神様がちゃんとすべてのことを見ていてくださり、かつ、正しく対処される方だから、私たち信仰者はこの世で“まっすぐに＝誠実に”生きることを志そう！そのことを誇ろうと！

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

＊聖書研究・祈祷会　Ⅰ．10 月 14 日（水）20：00
　　Ⅱ．10 月 15 日（木）10：30

聖書研究：　ヨブ記
祈祷主題：　を覚えて
担 当 者：　(水)　　(木)
祈りに覚える人：　さん　さん

【教勢報告】

主日礼拝　　男 18　　女 42　　計 60
祈 祷 会　Ⅰ．男 4　女 2　計 6　　Ⅱ．男 1　女 5　計 6
日曜学校　　幼稚科 5　　小中科 8　　計 13
ひつじ雲の会・9月28日（月）　男 0　　女 3　　計 3

【次週主日礼拝】　　１０月　１８日（日）

聖　書：
　　ルカによる福音書　：
説　教：「ルカ 90 ―」　　武田 真治 牧 師
讃美歌：

【次週当番表】

司式:長老　奏楽:　礼拝:
献金：　受付：KN　YS
会堂準備：KT　NE　HH　HH
看板：　週報：YS　お花：HM

【次週集会予定】

礼拝前：・日曜学校(礼拝・分級)　・聖書輪読会
　　・はこぶねルーム
礼拝後：・お茶の会　・牧師と語る会　・聖歌隊練習
　　・日曜学校教師会　・幼稚園理事会
　　・オリブの葉編集委員会

６７－４１

週　報

2026 年度　教会標語

「神様に“望み”を持って、生きる！」

２０２６年　１０月　１１日

日本キリスト教団　**上尾合同教会**
牧　師　　**武田　真治**

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33
TEL＆FAX　048－771－6549